



評価のポイント

CL-2.看護実践能力：ケアする力

〔26-2〕緊急性の判断と報告～事象の根拠と説明～

外傷による腹部損傷にて、安静臥床であった患者。喫煙歴あり。中心静脈カテーテル留置中。本日より、リハビリテーションが開始となった。

1. 何が起きたのか、アセスメントしてください。
2. どのように報告をするか、SBARで整理してください。必要な情報も列挙しましょう。

まず、SBARは、それぞれの項目は何を意味し、どのような報告をするのかおさらいする。

緊急性の判断はどのようにするか。

緊急性を判断するために必要な情報は何か。

外傷による腹部損傷、安静臥床、初回リハビリテーション、喫煙歴、中心静脈カテーテル留置中

このようなキーワードから、それぞれで、どのようなリスクがあるか、またリスクを判断するために、必要な情報を考えてみて欲しい。